

審査の結果、議案3件について全て可決し、陳情2件を不採択としました。

◆ 友楽喜に関する2件の陳情（継続審査事件）について

理事者からは、陳情書の提出のあった3月定例会以降も、友楽喜利用団体の活動場所の確保や、より活動しやすい環境整備のための要望等の調整を実施し、理解と協力が得られ、既に多くの団体で活動場所の移動が完了し、残る1団体についても11月末までの移動の了承を得ている状況であるとの報告がありました。

委員からは、陳情者の思いを汲んで、市として十分な対応がなされているという意見がありました。陳情書に記載された内容には、友楽喜の存続や廃止手続の一時停止が盛り込まれていることから、採決の結果、不採択とすることに決しました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案2件について全て可決しました。

◆ ロータリー除雪車の購入について

現在使用しているロータリー除雪車が18年経つことから、入れ替えのために同規格の車両を新たに購入するものです。

委員会では、車両価格や入れ替え後の古い車両の取り扱いについて内容を確認し、採決の結果、全会一致で可決することに決しました。



● 新中学校建設特別委員会

◆ 陳情第4号 スクールバス停留所に関する陳情書（継続審査事件）

委員からは趣旨採択との意見も出ましたが、各地区区長会での説明で全体計画について概ね理解いただいたことや、運行開始後も必要に応じ毎年見直しを行うことが確認できたこともあり、採決の結果、不採択とすることに決しました。

一般質問 議・議員／理・理事者

- 森林整備について
- 学校における校外活動について

その他の質問

- ・115プロジェクトの市外へのPRIについて
- ・政党等機関紙の庁舎内勧誘行為について

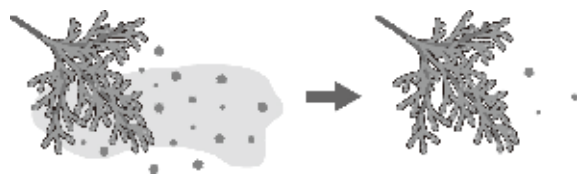


吉田将克 議員



議 政府は花粉症対策として、令和15年度までに、花粉発生源のスギ人工林の約2割の削減を目指している。スギ人工林の伐採や植替えは今後どのように実施していくのか市の方針を伺う。

理 森林の状況に応じて間伐等による伐採を継続的に実施している。また、植替えには、少花粉スギの苗木の導入を進め、花粉発生量の低減を図る方針である。市有林における近年の実績として、令和6年度は約2.39haに5,840本、令和7年度は約3haに4,600本の少花粉スギを植栽した。



議 同志社国際高等学校の平和学習を巡り、文部科学省が教育基本法に反するとしたことに対し、教育現場が萎縮するのではないかと懸念の声が聞かれる。当市の平和学習の基本的な在り方と文部科学省の判断が教育現場に与える影響について市の見解を伺う。

理 平和に関する学習は、命の尊さや人権の尊重、国際理解、平和な社会の実現について学び、公民としての必要な資質を育成するものであり、学習指導要領等を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じて、各教科をはじめ学校の教育活動を通して取り組んでいる。

校外における教育活動は、安全管理や危機管理に十分配慮して行われることは当然のことである。平和に関する学習についても、学習指導要領等の関係法令を踏まえ、適切に行われることが必要で、今後もこの原則に則って進めていくことから、市内小中学校の教育活動に特段の影響はないと考えている。